

家庭学習の手引き

1 家庭学習のねらい

小学校で学ぶことは、社会人として身に付けておかなければならぬ基礎となるものです。特に、「読むこと」、「書くこと」、「計算すること」は、欠かすことができない「生きる力」となるものです。

本校では、算数のように習熟度別指導を取り入れるとともに、東京ベーシック・ドリルを活用するなど、基礎学力の定着をめざして取り組んでいます。この基礎学力は、家庭と連携することにより、さらにその力が何倍にも高められます。

自発的に好ましい家庭学習習慣を身に付け、確かな基礎学力を高めるために、この手引きが役立つことを願っています。

2 家庭での学習を習慣化しよう

① 学習時間のめやす

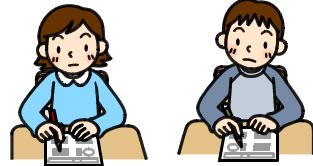
1・2年・・・15～20分間程度、3・4年・・・30～40分間以上、5・6年・・・50～60分間以上

② 学力アップは規則正しい生活から

- ・規則正しい生活のリズムを身につけましょう。
- ・家に帰ったら、早めに宿題をすませましょう。
- ・家族で相談し、ノーメディアデーやテレビ・ゲームの時間を決めましょう。
- ・自分で時間割や学習用具をそろえましょう。
- ・早寝・早起き（遅く寝ると早く起きられない、朝食を食べる時間がなく、食欲がわかない、学ぶ意欲がわかない。）を心がけましょう。（遅くとも午後10時までには寝ましょう。朝は遅くとも午前7時までには起きましょう。）
- ・朝食を食べ、体にスイッチを入れましょう。

③ 家庭学習3つのポイント

- ・勉強をするときはテレビを消し集中してしましょう。
- ・よい姿勢でしましょう。
- ・机の上は、きれいに片付けてからしましょう。



3 家庭学習のめやす

- 宿題はもちろんですが、次の学習にも進んで取り組んでみましょう。
- まず、正しくできるようにします。正しくできるようになってきたら、少しづつ速くできるようにしましょう。

【国語】

- ・漢字練習、ことばの意味調べ、ことわざ調べ、四字熟語調べ、作文、作詩、俳句、短歌、書き写し、音読、読書、日記、テストの間違い直しなど

【算数】

- ・計算練習、文章問題、教科書問題再チャレンジ、テストの間違い直しなど

【社会】

- ・地図記号、都道府県名、地名、世界地図、グラフや資料の読み取り、社会問題の感想、学習したことの復習など

【理科】

- ・学習したところを読み返し、学習した内容に関係することを本や辞典などで調べるなど

【その他】

- ・なわ跳びやペースランニングなどの体力つくりなどの記録、絵、クロッキー、小物つくり、リコーダー練習、鍵盤ハーモニカ練習、歌唱練習、暗誦や暗唱など

※ 自分の興味・関心のあることや弱点を補う自主学習ノートに取り組むのも効果的。

4 各学年で身に付けてほしい基礎的な力

【習慣形成の1年生】

- ① 平仮名、片仮名が読め、正しく書ける。
- ② 助詞（て、に、を、は）を使い分けて文章が書ける。
- ③ 1年生で学習する漢字80字をすべて読め、そのほとんどが書ける。
- ④ 楽しんで音読ができる。
- ⑤ 正しくたし算やひき算ができる。
- ⑥ 文章問題ができる。

【習慣定着の2年生】

- ① 2年生で学習する160字の漢字のすべてを読め、そのほとんどが書ける。
- ② 教科書がすらすら音読できる。
- ③ 順序よく話したり、書いたりすることができる。
- ④ 九九がすらすら言える。逆からも言える。
- ⑤ たし算とひき算の筆算ができる。
- ⑥ 定規などを使って、直線や図形を正しく引ける。

【自ら取り組む3年生】

- ① 3年生で学習する200字の漢字のすべてを読み、そのほとんどが書ける。
- ② 国語辞典を使って、言葉を調べる。
- ③ 筋道を立てて分かりやすく話したり、書いたりすることができます。
- ④ 簡単なわり算ができる。
- ⑤ かけ算の筆算ができる。
- ⑥ 重さをはかり、表すことができる。
- ⑦ 千万の位までの数を読んだり、書いたりすることができます。

【学び方を学ぶ4年生】

- ① 4年生で学習する200字の漢字のすべてを読み、そのほとんどが書ける。
- ② ローマ字の読み書きができる。
- ③ 国語辞典や漢字辞典を正しく活用することができる。
- ④ わり算の筆算ができる。
- ⑤ 文章題の意味が分かり、式を立てることができる。
- ⑥ コンパスを使って簡単な図形がかける。
- ⑦ 地名を調べ、47都道府県を覚える。

【計画を立て自力で進める5年生】

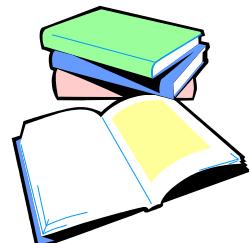
- ① 5年生で学習する185字の漢字のすべてを読み、そのほとんどが書ける。
- ② 習った漢字を使った熟語が書ける。
- ③ 小数のかけ算やわり算ができる。
- ④ 分母が同じ分数のたし算やひき算ができる。
- ⑤ 文章題の意味が分かり、正しく立式をすることができます。
- ⑥ 割合や百分率を使った問題が解ける。
- ⑦ 47都道府県の位置や地名を知ってる。

【小学校集大成の6年生】

- ① 6年生で学習する181字の漢字のすべてを読み、そのほとんどが書ける。
- ② 整数・小数・分数の加減乗除ができる。
- ③ 様々な文章の内容をとらえながら、読むことができる。
- ④ 文章題の意味が分かり、正しく立式をすることができる。
- ⑤ 歴史上の人物について、おおよそ理解している。
- ⑥ 世界の主な国の位置を、正しく示すことができる。
- ⑦ 理科の基本的な原理や法則が分かり、実験器具の名称や正しい使い方を知っている。

5 生活の中で心がけたいこと

- ① 読書は1か月2冊以上は読むようにし、読み終わったら読書ノートに記録しよう。
- ② いろいろな本を読み、書いてあることを人に説明できるようにしよう。
- ② 国語辞典や漢字辞典、その他の辞典などをいつも身近に置いて調べよう。
- ③ 地図帳を身近なところに置いて、分からることはすぐに日本地図や世界地図で調べよう。
- ④ 子どもニュース番組や子ども新聞などで、世の中の様子や動きを知ろう。
- ⑤ 自然や生きものなどに興味をもち、くわしく観察してみよう。
- ⑥ 安全やきまりを守って外遊びや運動をして、体力を高めよう。
- ⑦ 家の手伝いを進んでしよう。
- ⑧ 「時を守り、場を淨め、礼を正す」
 - ・時を守る・・・時間を守る。時間を守ることとは、相手を尊重し、そのことで自分が信用を重ねること。
 - ・場を淨める・・・掃除をする。①きれいな場所にする、②心を磨く、③謙虚になれる、④感動の心をはぐくむ、⑤感謝の心が芽生える、の5Kに気づくようになる。
 - ・礼を正す・・・あいさつをすること、返事をすること。あいさつをして、心をひらく。



6 家庭へのお願い

① 家庭学習時間を確保しましょう

塾、習いごと、スポーツなどの状況については、家庭によって様々です。1日の予定を見直し、短い時間でも毎日家庭学習の時間が設定できるようにお願いします。

② 努力を認め、励ましましょう

「集中してできたね。」「ていねいに書けたね。」「大きな声で読めたね。」など、ほんの少しであっても子どものがんばりを見逃さず、すかさず努力を認め励ましましょう。その蓄積が自尊感情や自己肯定感を高めることにつながります。

③ 目上の人に対する言葉遣いなどを教えましょう

ご家族の電話のやりとりやご近所の方との会話から、子どもは敬語や尊敬語を覚え、目上の人とのかかわり方を学びます。やがて言葉だけでなく、大人のすることを真似ながら、目上の人を敬うことの大切さを身に付けていくようになります。機会あるごとに、実際に手本を示しながら覚えさせていきましょう。

